

銚子の魅力を
発信するちょよ!



のI♡銚子

第72回

新時代の海をすすめる

石毛 夏海さんの巻

巷で噂のラーメン屋さん。漁協出身の元気はつらつな店長を直撃ちょよ!

人生ネバーエンディングストーリー

「好きな言葉は挑戦」

ラーメンと魚が大好きな店長の石毛

さん。銚子漁協を円満退職し、ラーメ

ン屋さんになった。自身の名前と、銚

子の海を感じる「魚メインの優しいラー

メン」を提供したいという想いが店名

「Umi」に込められている。

「失敗も成功も自分次第。不安より、

やりがいの方が大きい」

SNSで人気を博し、ここを自当て

に銚子に来る人もいる。「ありがたい

ことに、前職の経験が、魚の仕入れや人脈づくりに活かされていることを実感した」

日本一の魚くわっせえ

ラーメンには臭みのない旬の白身魚のスマークをつける。多いのは、鯛、ヒラメ。まれにアブラボウスが乗るこ

とも。お客さんから「これは何のお肉？」と聞かれるほど肉厚で大人気。運がよければ、キンメダイがのっていることもあるという。

優しい味の鮮魚のラーメン。「女性も罪悪感なく食べられる。最後の一滴

までスープをすすってもらいたい」日本一の銚子港が近い強みを活かし、海の素材にこだわった一杯に仕上がっている。

スープ作りも接客も丁寧に

「とにかく楽しい、お客さんとの会話の時間」

もともと、銚子のよさこいチーム「黒潮美遊」のセンターだった石毛さん。元気いっぱい、天真爛漫な人柄でリピーターも多い。中には、大阪から来てくれる人も。

「漁協の人も来てくれる」と話して

いた直後、漁協の人が来店。人が集まるのは、ラーメンの味だけではなく、店長の人柄も大きい。居心地の良い空間が店内に広がる。

後悔のない航海を

「食材やお店の管理は大変だけど、それ以上に楽しさが大きい。人生一回、かしまらず、皆さんも自由に挑戦してほしい」

十年後は、市制施行百周年。新時代が動き始めている。

最後の一滴まで、すすめるちょよ



▲2022年4月、ラーメン屋さんの夢を叶えた石毛さん(24歳)持っているのは、新メニュー「みそラーメン」(メニューは2つ。今後増やす予定)

麵処 Umi

新生町2-3-14

11時～14時 日曜日定休

Instagram
お店の Instagram へDM
(予約は前日までに)



▲Umiのラーメン
化学調味料が入っていない、魚メインの優しいスープ。地魚ごはん付き。シメは、ご飯にスープをかけて



▲体幹が強い店長。よさこい祭りのダンサー経験で培った体力が武器。銚子の「黒潮美遊」に所属し、今は都内のチームでダンスの技を磨く

＼脂ノリノリだぜーノ



ボクに会えたら超ラッキー

水揚げ量 12年連続日本一!

銚子漁港が近い、とても恵まれた環境。旬の魚を最高の状態で提供できる強み

広報ちようし

令和5年1月号第1252号 令和5年1月1日発行
発行/銚子市 編集/秘書広報課

〒288-8601 銚子市若宮町1-1
☎0479(24)8181(代表)
http://www.city.choshi.chiba.jp/

広報ちようしは、読みやすく分かりやすいデザインのため、UD(ユニバーサルデザイン)を使用しています。



人のうごき 令和4年12月1日現在 人口 56,512人(-118人) うち外国人住民人口 2,498人
男 27,532人(-53人) 女 28,980人(-65人) 世帯 26,898世帯(-24世帯) ※カッコは前月比
令和4年11月中の人口動態 出生 12人 死亡 88人 転入など 119人 転出など 161人